

## さまざまな手足のしびれについて

# 健康通信

常陸大宮済生会病院

院長  
河野 幹彦先生

「しびれ」は、異常な感覚（ビリビリ、ピリピリ、ジンジンなど）や感覚（温度、触った感じ、痛み）の低下など、感覚神経の障害がある時に使われる用語です。力が入りにくい場合は「しびれ」ではなく筋力低下（麻痺や脱力）と言い、運動神経の障害が原因となります。

### 《しびれの原因・4つの障害》

#### ①脳

脳の疾患としては、脳梗塞、脳出血、脳腫瘍などがありますが、これらの疾患では、しびれと同様に半身に筋力低下を伴っていることがほとんどです。

#### ②脊髄

脊髄の疾患としては、椎間板ヘルニア・すべり症、変形性脊椎（頸椎、胸椎、腰椎）症、脊髄腫瘍などがあり、これらの疾患でも障害部位に対応して筋力低下を伴っていることがほとんどです。

#### ③末梢神経（脊髄から手足先までの神経）

多発神経炎などの末梢神経の疾患としては、多くの神経内科疾患、糖尿病、慢性アルコール多飲、薬剤、癌、血管炎などがあり、一般的には左右対称に手足先のしびれが出現します。

#### ④その他

手足の血流障害でも、しびれが生じることがあります。いろいろな検査をしても原因が見つからない「特発性良性慢性しびれ」は高齢者に多く見られます。



### 《さまざまな「しびれ」》

神経系の障害によるしびれは、通常安静時にもありますが、血流障害によるしびれは運動時に、脊椎疾患によるしびれは、姿勢や体位により悪化しやすいとされています。

しびれの部位による原因として、「手のしびれ」は頸髄疾患（主に頸椎症）、手根管症候群などが、「足のしびれ」は脊髄（頸部、胸部、腰部）疾患、多発神経炎などがあります。

### 《検査と治療》

- ・検査…CT、MRI、神経伝導速度、筋電図などが行われます。
- ・治療…軽症のしびれには、ビタミン剤や血管拡張薬、抗不安薬などが使われます。  
多発神経炎や中等症以上のしびれには、上記の他に鎮痛薬、抗痙攣薬、抗うつ薬などを使用することがあります。  
手根管症候群や脊椎疾患によるしびれでは、整形外科的手術が必要となることがあります。

しびれが脳血管障害の前兆では、と心配される方が多いのですが、しびれだけの症状は、脳血管障害とはほとんど関係ありません。ただ、数分間であっても筋力低下を伴う急なしびれ、半身のしびれ、口と片側の手のしびれ、ろれつが回らないとか、めまいを伴ったしびれなどは、脳血管障害など脳疾患の可能性がありますので病院を受診してください。脳梗塞のしびれは、薄い手袋越しに触っているような感じがします。しびれの症状がある場合には、神経内科や脳神経外科の受診をお勧めします。